

令和5年
4月9日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

小山市・
野木町選挙区

栃木県選挙管理委員会

課題を解決するには！経験・知識・人脈・実行力が必要です。

板橋一好 プロフィール

◎生年月日 昭和15年10月16日生 82歳
◎現住所 小山市大字小宅1624
◎学歴 県立宇都宮工業高校土木科・日本大学短期大学部工科土木専攻卒
◎経歴 栃木県議会議員 13期目（現）昭和46年4月～小山市議会議員1期
栃木県議会副議長
栃木県議会議長
県出資法人あり方検討会 会長
企業事業等あり方検討会 会長
行政機構調査特別委員会 委員長
県功労者表彰
全国都道府県議会議長会永年勤続
功労者表彰
小山青年会議所 初代理事長就任
栃木県体育協会 副会長
栃木県陸上競技協会 会長
栃木県相撲連盟 会長
栃木県獣友会 会長
栃木県空手連盟 会長
栃木県監査委員
◎役職 自由民主党栃木県連 副会長
小山市空手連盟 会長
NPO法人「明るい社会づくり」東地区会長
栃木県体育協会・栃木県スポーツ協会 参与
二宮尊徳と日本の心を考える下野の国 顧問

板橋一好はつなぐ未来を目指して
全力で取組中！



私の政治信条

- 公平・報恩
- 本音で対話、建て前で行動
- 自由と民主主義を守る

普通政治家は、他人のやったことでも自分がやったと言いたがりますが、私の仕事に対する誰も言いません。なぜならば、私がそれを言い始めた頃はそんなことが出来ると思わず、夢物語と笑っていました。

役に立ちます！



自由民主党

いたばし一好

かずよし

昭和十五年十月十六日生（八十二歳）



無所属

平田こういち

1979年6月20日 43歳

未来ある子どもたちのために

やる気元気使命感

平田こういち 43歳

『未来のとちぎ』に必要な政策

- 1 国道と県道をつなげ、県南地区に一大経済都市を創ります。
- 2 子どもたちが住みやすく、免許返納した方々が安心して暮らせる栃木県を創ります。
- 3 農業の現場の声を聴き、事業継承ができやすい本気の制度を創ります。

▶▶▶ 平田こういちプロフィール ◀◀◀

◆1979年6月20日 栃木県小山市間々田生まれ
◆間々田小学校・中学校卒業
◆栃木県立小山高等学校卒業
◆中央大学文学部に入学し
その後家業に転する

家族構成

妻・長男20歳・次男18歳・長女14歳・三男8歳の6人家族
◆スパイスアップ株式会社 代表取締役 他

応援しています！
衆議院議員 藤岡たかお 富誠
小山市長 浅野正須

平田こういち後援会顧問
光南病院理事長

努力が報われる、出る杭を伸ばす栃木へ

所得向上

意欲ある誰もが公費で成長産業の技能・資格を得られる環境作り。
税金を納めている世帯が損をする理不尽な制度を全て見直し。

経済成長

中小・小規模事業者の資金繰り・事業承継支援に加え、デジタル・省人化の支援で企業負担を軽減。
経済安全保障として世界経済の過当競争から政治が企業を守り、企業が内部留保を人件費や価格に転嫁できる体制作り。

食料自給率の向上

輸入頼みを転換。海外産小麦から国産米粉の比重を大幅に増加。
牛豚鶏等のエサである飼料の国産拡充と共に、肥料の国産化に向けた排出物等の有効活用の推進。

誰にも優しい福祉

県ケアラー支援条例を私が中心に制定。相談体制の充実や負担軽減により、孤立を防ぎ支え合える社会の形成。
※ケアラーとは介護・障害・病気・引きこもり等の家族の世話をする人達。

子供、若者に投資

インターネット（WIFI）無料の都市を作り、経済発展と共に、地域間や親の所得による教育格差を是正。
コロナで出会いを奪われ婚姻率が激減し少子化が大きく進んだことを深刻に受け止め、根本的な予算配分の見直し。

財政のあり方見直し。単年度の予算、縦割りに縛られず、将来の投資効果を考えて予算を編成。

略歴

高校時に政治を志し2浪して大学入学
早稲田大学社会科学部卒業
代議士書生兼秘書
貿易商社起業（国際交流に従事）
大本山永平寺で1年間修業
小山市議選でトップ当選
剣道場「練兵館」副館長、剣道教士七段



自由民主党

白石としたか

しら いし

昭和五十年十月十一日生・四十七歳